

～ 人権・同和教育だより ～

空に風 人に愛

島根県立浜田高等学校
定時制・通信制課程

第5号 2020. 9. 18 (金)



< 見ようとしなければ見えないこと >

8月末、安倍晋三内閣総理大臣が辞任を発表しました。記者会見でも触れられていましたが、安倍首相は「潰瘍性大腸炎」という難病を患っています。私の友人も「潰瘍性大腸炎」で治療を続けており、肉体的・精神的なつらさを知っているつもりではありますが、外見からはわかりにくい病気です。外見からはわからない病気や障がいがありながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、病気や障がい周囲に理解されず、つらい思いをすることもあるようです。そのような方たちが、どんな場面で困っているのか、私たちにはどんな配慮が求められているのかを考えたいと思い、夏休み中に『知りたいあなたのこと～外見からはわからない障がい・病気を抱える人』というDVDを視聴しました。みなさんにも知ってもらいたいと考え、DVDの内容について、ここで紹介します。

○こんなマークを知っていますか？

これらは、病気や障がいがあることを知らせるためのものです。

こうしたマークをつけている人を見かけたとき、私たちにはどんな配慮が求められているでしょうか？



ヘルプマーク

- ・義足や人工関節
- ・障害や病気
- ・妊婦 など



ハートプラス

- ・内部障害
(内臓の病気や障害)



耳マーク

- ・聴覚障害



見えない障害バッジ

※内部障害の種類

- ・心臓機能障害
- ・腎臓機能障害
- ・呼吸器機能障害
- ・肝臓機能障害
- ・膀胱・直腸機能障害
- ・小腸機能障害
- ・ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能障害

○ケース1 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (CIDP) の方のお話

四肢の運動神経や感覚神経が障害される。手足の筋力低下やしびれなどの症状がある。

原因不明で、治療法も確立されていない難病。

病気の症状や薬の副作用で長時間立っていることがつらい時に、優先席に座っていると「若いくせにどけ！」と怒鳴られたことがあった。エレベーターを利用すると「若い者は階段を使え」と言われたこともある。外見ではわからなくても、座席、手すり、エレベーターを切実に必要とする人がいる。

○ケース2 クロウン病の患者の方のお話

大腸や小腸などの消化器官に慢性的に炎症が起こる。腹痛、下痢、血便、体重減少などの症状がある。潰瘍性大腸炎とあわせて炎症性腸疾患 (IBD) という。完全に治すための治療法はない。

日常的に食事制限をしている。付き合いでの宴席で無理をしてお酒を飲み、つらい症状に苦しんだことも。病気の症状でトイレに行く回数が多い。患者によってはオープンに話せない人もいる。外見からは病気であることがわからないので、さぼっている、付き合いが悪いと思われたり、本人がそう思われているのではと気にしてしまうこともある。勘違いによってすれ違いが起きることもある。症状や場所に依じて配慮が求められる。

(裏へ続く)

○ケース3 てんかん・発達障がいの方のお話

てんかん …脳の神経細胞が異常に興奮することによってけいれんなどの発作が繰り返し起こる。発作には、強直間代発作、欠神発作、ミオクロニー発作、脱力発作などがある。てんかん発作には前触れがなく、本人には対応できない。

※てんかんの発作を起こした人がいたら？

通常は数分以内に発作はおさまり、20分以内に意識も回復する。

周囲の安全を確保し、発作の状況や経過を観察しておく。

発作がおさまらない、けがをしている場合などは、救急車を呼ぶ。

発達障がい…「自閉症スペクトラム障がい」「注意欠如・多動性障がい(ADHD)」「学習障害(LD)」などの総称。外見からはわからない。

個性や長所として受け取ってもらえるとよい。

人によって違うが、温かい目で見守り、助けを求められた場合は、話をきちんと聞いてほしい。

○私たちにできる配慮とは

病気や障がいの症状は人それぞれ。見えない病気や障がい全てに言えることだが、想像力が必要。

全ての人に配慮することは難しいが、まず、自分の隣の人に対して想像力を働かせ自分にできる配慮をする。余裕ができれば、同じ教室の人、同じ学年の人…と範囲を広げていく。

思いやりや配慮を行動で示すこと（見守る、声をかける、助けが必要であれば手伝う）。

そのようなことが自然にできる社会は、誰にとっても住みやすい社会であるはず。

DVDで紹介されていたマーク以外にも、以下のようなものがあります。



オストメイトマーク

オストメイトマーク

オストメイト（人工肛門・人工膀胱を造設した方）を示すシンボルマーク。

オストメイト対応のトイレ等の設備があることを示す場合などに使用されます。



白杖SOSシグナル普及啓発シンボルマーク

白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚に障がいのある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発

シンボルマークです。



ほじょ犬マーク

身体障害者補助犬法に基づき認定された補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）を受け入れる店の入口などに貼るマークです。

外見からはわからない病気や障がいがある方全てが「ヘルプマーク」などをつけているわけではありません。どちらかといえば、そのようなマークをつけている人の方が少ないと思います。相手の言動に引っかかる時、その言動が相手の単なるわがままや怠けによるものだと受け取ってしまうこともあります。そのような場面に出会った時、「もしかすると、相手はしんどい状況なのではないか?」「何かが苦手で困っているのではないか?」と考えたり想像したりすることで、自分の受け止めや相手に対する行動が変わってくるはずですが、まずは、自分のそばにいる人、隣にいる人に対して想像力を働かせ、自分にできることを行動で示していくことから始めたいですね。

(生徒部 人権・同和教育担当 岡崎)

<「見えないもの」と「見えるもの」～「心と心遣い」・「思いと思い遣り」～> ～生徒部より～

10年くらい前、印象的で心に残るCMがありました。『達』には「こちらから向こうに…」という意味があります。

「心」は誰にも見えないけれど、「心遣い」は見える。

「思い」は見えないけれど、「思い遣り」は誰にでも見える。

「気持ち」は、「行い」になって初めて見える。 [A CJAPANのCMより]

心は遣（つか）って、思いは遣（や）って、つまり「行動」となって初めて相手に伝わります。

周囲の人たちの立場に立って、相手のことを考える、行動する力

= 「心遣い」や「思い遣り」を身につけてもらいたいと思います。

(生徒部 人権・同和教育推進委員：春木)